

1. 科目名（単位数）	教育学概論（中等）（2 単位）		3. 科目番号	GELA1314 EDTS1101
2. 授業担当教員	新井 英男			
4. 授業形態	講義、ディスカッション		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育（学）の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育（学）の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で土台となる教育の理念・歴史及び思想に関する基礎的知識の修得を目的とする。 具体的には、人間の営みとしての教育の歴史において、どのような教育思想が、どのように現れてきたかについて学ぶとともに、今日的な教育の理念や思想、理論の意義について、子ども・教育方法・学校教育等の観点からとらえ直し、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。			
8. 学習目標	本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。 1. 教育に関する多様な考え方にふれることを通して、今日の教育的事象に関心をもつことができる。 2. 「子どもの発見」以来の子ども観の変遷について理解した上で、「人間形成」という観点から教育について考えることができる。 3. 時代や社会の変化に応じて様々な教育思想や理論が生み出されてきたが、それらの今日的な意義について理解を深め、「よりよい教育とは何か」を考えることができる。			
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	事前学習として、教科書をよく読み、自分の考えをもって授業に臨みましょう。レポート課題についての詳細は、授業の中で説明します。授業の最後に、理解した内容や感想等を毎回150字程度で学修カードに書いて提出してもらいます。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学』[改訂版] 有斐閣、2022 年。 【参考書】 安彦忠彦・藤井千春・田中博之編著『新版よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房、2020 年。 今井康夫編『教育思想史』有斐閣アルマ、2009 年。 田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二『やさしい教育原理[第3版]』有斐閣アルマ、2016 年。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』第6版 中央法規、2022 年。 湯川次義編『最新 よくわかる教育の基礎』学文社、2019 年。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。（知識・理解） 2. 教育理解に関する柔軟さ、教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。（関心・意欲・態度） 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。（判断力・表現力） 以上の観点をふまえ、下記の1～3によって評価する。 ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢（ディスカッションやグループワークへの積極的参加度） 総合点の30％ 2. 授業内での課題提出（小テスト・中間レポート等） 総合点の40％ 3. 期末課題 総合点の30％			
12. 受講生へのメッセージ	自立した教師であるためには、現在の教育内容・方法に至る経緯についての理解が必要です。この授業では、時代や社会と共にある教育について考えます。学生による発表とそれに基づく討議の機会を多く取り入れ、個々の理解を深めていきます。そのため、毎回の事前学習が積極的な授業参加の前提になります。主体的に学び、「不易と流行」を自問できる教師を目指しましょう。			
13. オフィスアワー	初回授業時に案内します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	ガイダンス -あなたの教育観をみつめてみよう-	事前学習	シラバス及び教科書第1章に目を通し、教育のイメージをまとめてくること。	
		事後学習	本講義の学び方について復習するとともに、他の受講者の意見から学んだことについてレポートすること。	
第2回	教育の原義・必要性・教育的価値について -ルソー・カント・ランゲフェルトの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.4~15 を読み、教育の原義、人間に必要な「教育」について自分の意見をまとめてくること。	
		事後学習	教育に関する探求の手がかりに関して、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。	
第3回	教育の意義・目的について -デュルケームの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.16~26 を読み、教育の意義・目的・社会的機能について自分の意見をまとめてくること。	
		事後学習	社会や国家と教育との関係について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。	
第4回	「子ども」に関する歴史・思想 -ベスタロッチ・ルソー・アリエスの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.28~42 を読み、子ども観の歴史的変遷に関する調べ学習を行ってくること。	
		事後学習	教育学の「古典」を学ぶことの意味について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。	

第 5 回	「教育方法」に関する歴史・思想 ーコメニウス・ヘルバルト・ルソー・フレーベル・デューイの思想を中心にー	事前学習	教科書 pp.44~58 を読み、教育方法の歴史に関する調べ学習を行ってくること。
		事後学習	教え方の歴史を振り返り、これからの教育において、どのような教え方が求められるか、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第 6 回	「子どもの権利」に関する歴史・思想	事前学習	教科書 pp.59~73 を読み、義務教育や教育を受ける権利に関する調べ学習を行ってくること。
		事後学習	あなたの身近にある子どもの権利に関する事例を取り上げてレポートを作成すること。
第 7 回	「公教育制度としての学校教育」の理念に関する歴史の変遷	事前学習	教科書 pp.74~91 を読み、公教育制度としての学校教育について理解してくること。
		事後学習	今日の公教育制度としての学校教育について学んだことを他の受講者にわかりやすく説明できるレポートを作成すること。
第 8 回	「近代学校」に関する歴史・思想 ーデューイの思想と「大正自由教育」を中心にー	事前学習	教科書 pp.94~109 を読み、「学校の役割」について、自らの意見をまとめてくること。
		事後学習	「子どものための学校」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第 9 回	「学校教育」と文化に関する歴史・思想 ー「隠れたカリキュラム」・「学校化」を中心にー	事前学習	教科書 pp.110~124 を読み、「学校で学ぶ内容」について理解してくること。
		事後学習	「学校で何を学ぶべきか？」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第 10 回	「教師像」「教師論」に関する歴史・思想	事前学習	教科書 pp.125~137 を読み、歴史的に「よい教師」はどのようにイメージされてきたかについて理解してくること。
		事後学習	「教師の専門性」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第 11 回	教師と子どもの関係性 ー子ども理解と生徒指導の観点からー	事前学習	教科書 pp.138~152 を読み、教師と子どものよりよい関係について理解してくること。
		事後学習	「教育的関係性とは何か」という問いに対するレポートを作成すること。
第 12 回	「学習」「学び」に関する歴史・思想	事前学習	教科書 pp.153~169 を読み、自分が深く学んだと思われる経験についてまとめてくること。
		事後学習	「子どもがよく学ぶために必要なこと」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第 13 回	「生涯学習」「社会教育」に関する歴史・思想ーラングラン・フレイレ・イリイチの思想を中心にー	事前学習	教科書 pp.170~180 を読み、生涯学習・社会教育の理念を理解してくること。
		事後学習	身近な生涯学習・社会活動の実践に関するレポートを作成すること。
第 14 回	教育と学校の未来について ー現代思想による学校教育批判を中心にー	事前学習	教科書 pp.181~190 を読み、これからの教育のあり方について、自らの意見をまとめてくること。
		事後学習	「教育と学校の未来」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第 15 回	まとめ	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの14回の授業内容をふりかえってくること。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足していた点を再度学習する。